



おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告 2016年予算号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

- ①大規模地震への備え
 - 地震・津波から命を守る
 - 緊急地震・津波対策等交付金 30億円
 - 市町が取り組む地震・津波対策事業等を支援 3年間(H28~30)の事業計画を承認(90億円程度) [継続] 補助率上げを3年間継続(津波対策ほか 1/3→1/2) [拡充] 対象メニューの追加(火山防災マップ整備 ほか)
 - 防潮堤・水門等の整備 142億6,600万円 津波対策施設等整備基金を活用した浜松市沿岸域の整備 ほか
 - プロジェクト「TOUKAI-O」総合支援事業費 7億8,100万円 木造住宅の耐震補強支援、建築物耐震化推進(H32年度末目標:95%) [新規] 高齢者世帯等に対するきめ細かな訪問相談
- ②内陸フロンティアを拓く取組
 - 地域資源を活用した新産業や成長産業の創出・集積
 - 内陸のフロンティア推進事業費 2,500万円
 - 推進区域内の市町と民間開発事業者のマッチング ほか
 - ネオ・フード・ロジスティクスパーク構想推進事業費(新規) 500万円 H29開通予定の中部横断自動車道等を活用し、食の物流拠点を創出
 - 茶の都拠点整備事業費 1億6,200万円 茶の産業、文化、学術に関する拠点を島田市「お茶の郷」に整備
 - 県単独事業予備費 10億円 富士山静岡空港新幹線新駅設置に迅速に対応
 - 都市高速鉄道高架関連事業費 3億7,000万円 沼津駅付近鉄道高架本体部の設計、用地補償 ほか
- ③新成長産業の育成と雇用創出
 - 産業成長戦略推進事業費 2,400万円 「オープンイノベーション静岡」による地域企業への官民協働のサポート
 - 航空関連産業振興事業費(新規)(2月補正) 1億7,500万円 県内中小企業の設備投資や人材育成、無人航空機分野への展開を支援
 - ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費(2月補正) 2,600万円 「ふじのくにCNFフォーラム」を中心に県内企業の製品開発を促進
 - 地域企業人材確保事業費 1億300万円 県内企業の人材確保支援と、学生のUターン就職を促進
 - 県内企業と県外人材マッチング支援事業費(2月補正) 5,600万円 企業の人材ニーズを掘り起し、プロフェッショナル人材戦略拠点運営
- ④エネルギーの地産地消
 - エネルギー産業の振興
 - 新たなエネルギー産業振興事業費(新規) 1,500万円 エネルギー産業戦略会議を設置、エネルギー分野の産業成長戦略策定
 - 次世代エネルギー産業構築支援事業費(新規) 1億500万円 水素ステーション整備への助成(補助率1/6 上限1億円)
 - 地産エネルギー創出支援事業費 3億9,200万円 家庭における太陽光発電設備設置に対する助成 既築住宅4,500件 中小企業等の新エネルギー設備への投資等の支援 ほか
 - 伊豆半島エコリゾーツ推進事業費 1,600万円 電気自動車を活用し、伊豆半島の取組を発信
- ⑤人口減少社会への挑戦(その1)自然減対策
 - 子育て支援
 - 認定こども園・保育所等整備事業費助成 32億1,200万円 施設整備を行う市町への助成(定員2,148人増)
 - 保育士修学資金等貸付事業費助成(新規) 16億円 保育士養成施設の学生に対する修学資金等の貸付制度を創設 学生:月額5万円、入学・就職準備金各20万円(H28貸与164人)
 - ふじのくに少子化対策特別推進事業費 2億1,100万円 結婚、妊娠・出産、子育ての一貫した「切れ目のない支援」を実施
 - 妊娠・出産包括支援員養成事業費(新規) 100万円 妊娠から子育て期までの切れ目のない相談体制を担う人材を養成

- ⑤人口減少社会への挑戦(その2)社会減対策
 - 移住・定住の促進
 - 生涯活躍のまち構想検討事業費(日本版CCRC)(新規) 500万円 伊豆地域の市町等と連携し、生涯活躍のまち構想を検討
 - 移住定住関連事業 4,700万円 “ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター(東京)の運営 移住体験ツアーの実施 ほか
 - しずおか移住・就職応援事業費 500万円 本県への移住希望者に県内就職を個別に支援
 - 空き家等対策推進事業費(新規) 300万円 空き家ワンストップ広域相談会開催(東中西各2箇所×2回)
- ⑥多彩な人材を生む学びの場づくり
 - “ふじのくに”の未来を担う人材の育成
 - 静岡式35人学級編制の継続 国加配、県単独措置45人 小・中学校全学年で継続
 - 「チーム学校」推進事業費(新規) 9,200万円 各学校の課題解決を図るための外部人材の配置 75人
 - 特別支援学校の教育環境充実 37億6,500万円 東部特別支援学校(伊豆の国市:H30開校)、西部特別支援学校(浜松市:H29開校)の整備、スクールバス1台増車(沼津特別支援学校) ほか
 - ふじのくにグローバル人材育成基金積立金(新規) 1億5,500万円 県及び民間からの寄附金により、国内外で活躍できる人材の育成を社会総がかりで支援するための基金を創設
 - グローバル人材育成事業費(新規) 2,000万円 高校生の留学への助成、海外インターンシップの実施(合計100人)
 - ⑦健康寿命日本一の延伸
 - 県民の健康づくりの推進、安全で質の高い医療の提供
 - 社会健康医学研究推進事業費(新規) 2,500万円 健康寿命の更なる延伸、社会健康医学の研究推進に係る基本構想策定
 - 壮年熟期が活躍するいきいき長寿社会づくり事業費(新規) 800万円 ふじのくに型「人生区分」活用した壮年熟期(66歳~76歳)の社会参加を促進
 - 環境衛生科学研究所移転整備事業費(新規) 1億200万円 移転整備のための設計(H31年度開所予定 藤枝市)
 - ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ運営事業費 12億5,800万円 医学修学研修資金貸与による医学生確保(新規:120人)
 - 東部ドクターヘリ格納庫等整備事業費助成(新規) 1億3,300万円
- ⑧富士山を活かした地域の魅力づくり
 - 人々を惹きつけ憧れを呼ぶ地域づくりの推進
 - 富士山世界遺産センター(仮称)関連事業費 17億9,000万円 建築工事、展示物製作、調査研究、情報発信 H29年度完成
 - 「葦山反射炉」後世への継承推進事業費 700万円 世界遺産委員会決議への対応、県民講座の開催 ほか
 - 日本平山頂シンボル施設整備事業費 5,700万円 静岡市と連携して、優れた眺望や価値等を発信する施設整備(H27~28設計)
 - ふじのくに地球環境史ミュージアム関連事業費 2億8,900万円 平成28年3月26日開館(常設展示観覧料300円ほか)
 - 国内誘客推進事業費 1億2,400万円 井伊直虎などの歴史資源を活用し、国内の誘客や周遊を促進

静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



3月17日 28年度予算は遠州灘海岸野球場計画費を削除した自民提案の修正予算を可決。

平成28年度当初予算・組織定数改編方針

富国有徳の理想郷 世界にはばたく“ふじのくに”

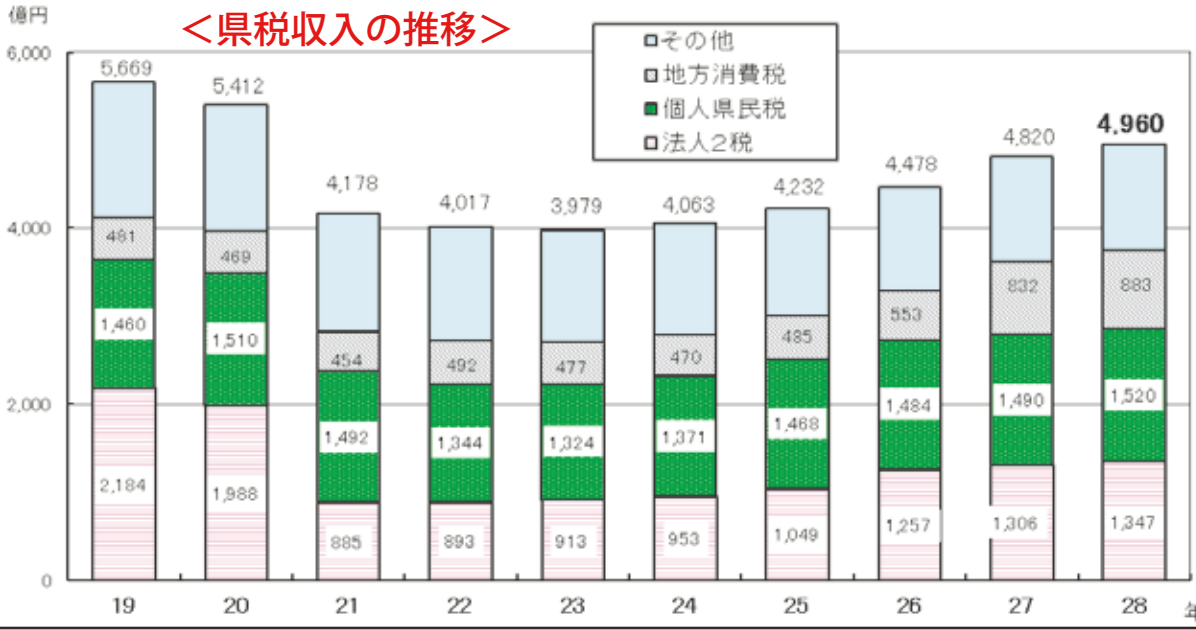
富国有徳の理想郷“ふじのくに”の早期実現に向けた取組を加速化させ、世界水準の魅力を活かし、「世界にはばたく“ふじのくに”」を目指す予算編成と組織改編を行なった。

方針1 “ふじのくに”づくりの総仕上げに向けた重点的な取組

- 世界にはばたく3つの戦略
 - スポーツを通じた交流の拡大とスポーツ王国しずおかの復活 東京オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ事前キャンプ誘致 国体の上位入賞を目指した選手強化、地域におけるスポーツ活動の機会拡大
 - 新しい地域外交の展開 県産品の販路拡大などの通商の促進や県内企業の海外展開支援 東アジアを中心とした地域間交流の促進、訪日外国人の受入体制の強化
 - 農林水産業の競争力の強化 マーケティング戦略策定とブランドの確立、高収益な作物栽培体系へ転換促進 世界水準の森林認証の取得促進と国内外への販路拡大
- 後期アクションプランを推進するための8つの取組
 - ①大規模地震への万全の備え
 - ②内陸のフロンティアを拓く取組
 - ③新成長産業の育成と雇用創出
 - ④エネルギーの地産地消
 - ⑤人口減少社会への挑戦
 - ⑥多彩な人材を生む学びの場づくり
 - ⑦健康寿命日本一の延伸
 - ⑧富士山を活かした地域の魅力づくり

方針2 将来を見据えた戦略的な行政運営

- 将来にわたって安心な財政運営の堅持
 - ・県債残高の抑制と将来に向けて活用可能な基金の確保
- 時代のニーズに的確に対応する機動的かつ能率的な組織づくり
 - ・重点的かつ部局横断的な課題への、迅速かつ柔軟な対応



<投資的経費>-47億円

- <単独事業>+21億円
 - 将来に向けた社会基盤の整備
 - ・東部・西部特別支援学校(+33億円)
 - ・市町の地震・津波対策への支援(+30億円)
 - ・東京五輪自転車会場アクセス道路(+7億円)
 - 計画事業の進捗に伴う減
 - ・医療健康産業研究開発センター(△31億円)
 - ・県立学校外壁安全対策(△11億円)
- <公共直轄>△66億円
 - ・全国防災事業の制度終了(△41億円)
 - ・オフサイトセンター等整備完了(△21億円)
- <実質的な地方交付税>△20億円
 - ・地方交付税に臨時財政対策債を加えた「実質的な地方交付税」は、県税収入の増により、国からの配分額が減少の見通し

落合政経塾 予定4/6, 5/11, 6/1, 7/6

参加者募集 毎月第一水曜日 19時~21時 高塚講師が約1時間講演します。落合県議の県政報告の後、意見交換会です。

1月6日(水)政経塾開催の写真高塚講師が講演しています。

落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838

TEL 054-645-8100

FAX 054-645-8111

メール s.o@thn.ne.jp

http://www.ochiai-shingo.jp

大井川焼津藤枝スマートインターチェンジ開通式

●行財政改革大綱に基づく取組

項目	目標	H26	H27	H28	累計
財源捻出	4年間(H26~H29)で600億円	162億円	156億円	156億円	474億円
項目	目標	26年度末	H27年度末	H28年度末	H28-H27
県債残高	-	2兆7,091億円	2兆7,235億円	2兆7,217億円	△18億円
うち通常債	上限 2兆円程度	1兆7,182億円	1兆6,730億円	1兆6,099億円	△631億円

●活用可能基金

翌年度以降活用可能な基金 H27 355億円 ⇒ H28 360億円(+5億円)

